

全国知事会議 in とっとり (R8.7.16～17)

令和8年7月全国知事会議「鳥取宣言」(抜粋)

日本の当面する課題克服と経済・社会の成長・発展を希求し、誰もが未来への希望を持ち生き生きと暮らせる地域社会と日本の実現に向けて、全国知事会として一致結束して邁進していく決意を宣言。

- 我が国の最重要課題である人口減少問題を克服し、次の世代も夢や希望を描くことができる未来を拓くため、「人口戦略推進チーム」を新たに設け、国と車の両輪となってこの国の構造変革に向け力強く行動を起こしていく。
- 少子化・人口減少が急速に進む我が国にとって、今後の発展に向けて、年齢や性別などの違いにかかわらず、全ての人が個性や能力を最大限発揮できる社会の形成が急務である。
固定的な性別役割分担意識や無意識な思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消のための取組など、ジェンダー平等の実現に向けた施策を、政府と都道府県が一体となってこれまで以上に強力に推進していく。

同会議セッションB「ジェンダー平等に向けて～女性にも魅力ある地域社会をつくろう～」

- 女性の管理職登用は知事が信念をもって続けること、介護等の問題解決に向けて本気で一緒に考えることが大事。男女比も含め、将来どんな組織にしていきたいかを明確にすること。
- 役職指定の審議会委員はみな男性で変わらないのが悩み。特に防災系の審議会は女性を会長に指名してほしい。女性が出席すると、風景や場の雰囲気が変わる。
- 「アンコンシャス・バイアスの解消」が次のポイントになる。アンコンシャス・バイアスは放っていたら絶対に変わらない。「未来を選択する会議」が作成した動画などを活用し、一緒に悩んで地道に解決策を探すことが重要。

世代・性別を超えた相互理解の更なる促進へ「未来を選択する会議」

- 人口問題等に取り組む民間組織「未来を選択する会議」が展開する“対話活動”と連携し、誰もが暮らしやすく働きやすい社会づくりに向け、企業や地域団体等での対話の実践を通じて社会規範のアップデートを促進していく

- ✓ 「スローリスニング」手法(言葉になるまでの迷いや過程をともに探索する聴き方)による対話
- ✓ 対話ドキュメンタリー映像を活用した理解促進
- ✓ 専門ファシリテーターの活用 等

「未来を選択する会議」では、今後各地域で対話活動(ワークショップ等)を実践するための支援体制を構築予定

⇒対話の実践を通じた意識・行動変容を全国に展開

対話ドキュメンタリー
映像「真因の時間」





鳥取県「地域働き方・職場改革」の推進



職場の雇用管理上の問題への対応

■ 社労士を派遣し就業規則等の整備を支援

社会保険労務士を派遣し、育児・介護休業法等の法令に適合させるとともに、多様な働き方の導入や多様な人材活用を図るための就業規則等の整備支援を実施。【R7実績】71社

■ カスタマーハラスメント対策セミナー

改正労働施策総合推進法で事業主に義務付けられるカスハラ対策の内容やカスハラへの適切な対応を学ぶセミナーを開催。
【R8実績】137名受講

仕事と育児・介護等との両立支援

■ 男性育休取得の促進

- 意識醸成のため、企業向けセミナーを開催
- 社労士等が男性育休取得に係る課題を把握し、解決策を提案する助言支援

■ 父親交流会・新米パパ子育て講座の開催

- 初めて育児を行う父親どうしが繋がることができる交流会を実施し、父親が感じる育児への不安を緩和
- 父親に向けて、赤ちゃんのお世話や妊産婦に関する実習・講演を実施（例：沐浴・妊婦体験、赤ちゃんの抱き方、父親に求められる意識、出産前の準備・産後うつ）



父親ならではの
悩みや気持ちを
共感・共有

安心して赤ちゃんを
迎えられると好評

職場における健康課題への対応

■ プレコンセプションケアの推進

男女ともに正しい情報を得て、自己決定により未来の選択肢を広げるためのヘルスケア

○思春期以降のあらゆる方に知ってほしい健康づくりの啓発

- ・心身の状態を点検するチェックシート作成やオンラインセミナーの開催

○プレコンセプションケア健診を実施する市町村の拡大

- ・(R7) 2市町→(R8) 15市町村（県補助率1/2）

○相談体制の充実

- ・ライフプランを考える上での不安・悩みなど、いつでも、気軽に専門家にオンラインで相談できる「とっとりプレコン相談室」を設置

■ 更年期障がい医療・相談体制

更年期症状・障がいに係る医療体制及び相談体制を整備(R5～)

○拠点病院：鳥大附属病院 地域拠点病院：県立中央・厚生、山陰労災病院

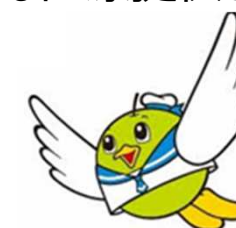
- ・かかりつけ医も含めた医療連携ネットワークを構築、病態に応じ適切な医療提供と支援

○更年期だれでも相談室（更年期障がい相談支援センター）

- ・悩みを抱える方が電話、対面で相談、各地域拠点病院に設置

○更年期だれでもチャットボット(R7.7～)

- ・性別に関わらず更年期に関する定型的な疑問や悩みに対応



固定的な性別役割分担意識等の解消

■ 性別によるアンコンシャス・バイアスの解消に向けた「キズキアイとっとり県民運動」の推進

○業界団体や市町村等と県民運動組織を結成し、各団体の取組を県が支援

- ・各団体が研修会の開催やアクションプラン作成などの実践運動を展開
- ・県による活動経費助成や取組の横展開により県民運動を促進

○県民の気づきと行動変容に向けた普及啓発・情報発信

- ・県民運動の愛称とロゴ・シンボルマークの公募・作成
- ・アンコンシャス・バイアスへの気づきを促す動画作成やメディア広報

○みんなで学んで話彩や（はなさいや）の開催

- ・固定的性別役割分担意識等に起因する諸課題や解決策等について意見を交わす座談会を地域や学校等で開催

